



第二回FWT委員会

平成30年1月25日(木)PM1:00
ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイアンダンテ
司会：地区FWTコーディネーター(副) L和田民子

①出席者紹介

②ガバナー挨拶

337E 地区ガバナーL村中 尊裕亀

③地区FWTコーディネーター挨拶

地区FWTコーディネーター(正) L井芹 貴子

④レモネードスタンド物語視聴

小児がんの子ども・親の現状について

公益財団法人 がんの子どもを守る会

九州北支部 代表幹事 山本 章子様

副代表幹事 内藤 真澄様

⑤ヘアードネーションについて

地区FWTコーディネーター(正) L井芹 貴子

⑥糖尿病食について

地区FWTコーディネーター(正) L井芹 貴子

⑦子どもの貧困問題 (キッズアカデミーについて)

複合地区FWTコーディネーター(副) L高野 裕子

2017～2018年度 第2回FWT会議
出席者名簿

公益財団法人 がんの子供を守る会 九州北支部 代表幹事 山本 章子 様

公益財団法人 がんの子供を守る会 九州北支部 副代表幹事 内藤 真澄 様

【337-E地区】

| No. | 役職名 | 氏 名 | 所属LC名 |
|-----|------------------|---------|---------|
| 1 | 地 区 ガ バ ナ ー | 村中 謙裕 亀 | 熊 本 第 一 |
| 2 | キ ャ ビ ネ ッ ト 会 計 | 古谷 陽一 | 熊 本 第 一 |
| 3 | 複合地区FWTコーディネーター | 髙野 裕子 | 熊 本 平 成 |
| 4 | 地区FWTコーディネーター（正） | 井 芹 貴子 | 熊本キャッスル |
| 5 | 地区FWTコーディネーター（副） | 和田 民子 | 八 代 氷 川 |
| 6 | 1 Z Z C | 島 清 房 | 熊本サンライズ |
| 7 | 2 Z Z C | 吉村 孝太郎 | 肥 後 黎 明 |
| 8 | 8 Z Z C | 松永 真一 | 肥 後 小 川 |
| 9 | 9 Z Z C | 内浦 昌平 | 牛 深 |
| 10 | | | |
| 11 | | | |
| 12 | | | |
| 13 | | | |
| 14 | | | |
| 15 | | | |
| 16 | | | |
| 17 | | | |
| 18 | | | |
| 19 | | | |
| 20 | | | |

2017～2018年度 第2回FWT会議
出席者名簿

【337-E地区】

2018. 1. 25

| No. | 役職名 | 氏名 | 所属LC名 | |
|-----|----------|--------|----------|----|
| 1 | クラブ幹事 | 坂田 理子 | 熊本りんどう | 2 |
| 2 | クラブFWT委員 | 松村 勝子 | 熊本火の国 | 2 |
| 3 | クラブFWT委員 | 田尻 友江 | 熊本金峰 | 2 |
| 4 | クラブFWT委員 | 日置 翠子 | 熊本リバティ | 2 |
| 5 | クラブFWT委員 | 浦田 祐三子 | 玉名 | 3 |
| 6 | クラブFWT委員 | 東田 元美 | 合志 | 4 |
| 7 | クラブFWT委員 | 角斐 美穂 | 高森 | 5 |
| 8 | クラブFWT委員 | 渡邊 始枝 | 阿蘇小国郷 | 5 |
| 9 | | 松村 リザ | 熊本中央 | 6 |
| 10 | クラブ会長 | 田代 あや | 熊本キャッスル | 6 |
| 11 | クラブFWT委員 | 前田 洋子 | 熊本東 | 6 |
| 12 | | 秋吉 里美 | 肥後東 | 6 |
| 13 | クラブFWT委員 | 犬童 暉 | 免田 | 7 |
| 14 | クラブ会長 | 堤 早代 | 八代氷川 | 8 |
| 15 | クラブFWT委員 | 石本 妃呂子 | 宇土 | 9 |
| 16 | クラブFWT委員 | 岩崎 雅徳 | 甲佐 | 10 |
| 17 | クラブFWT委員 | 伊津野 輪子 | 熊本龍峰 | 11 |
| 18 | クラブFWT委員 | 南 希里 | 熊本南 | 11 |
| 19 | クラブFWT委員 | 清家 美穂 | 熊本城北 | 11 |
| 20 | クラブ会長 | 坂田 義照 | 熊本ダイヤモンド | 11 |

FWTの3つの取組み

・小児がん・糖尿病・子供の貧困

小児がん

小児がんに対する理解と共感を深めるため、NHKの小児がん啓発のビデオ・レモネードスタンド物語の視聴と公益財団法人がんの子どもを守る会の代表幹事の山本さんと副代表幹事の内藤さんお二人の体験を元にしたお話がありました。

・啓発ビデオの内容

小児がん支援の取組みのひとつとして「レモネードスタンド」があります。

レモン、砂糖、水があれば子どもにも簡単に作れるレモネードを販売して、小児がんを支援しようとする募金活動のことをいいます。元々アメリカの小児がんと闘う女の子が小児がん治療研究支援の目的で始めたものですが、日本ではそのお話しに触発された福岡の小学生の女の子が発起人となり、同じくレモネードを販売して小児がんを支援するチャリティを始めました。活動の輪は学校教育で活用されるなどして広がっています。

日本の小児がんの治療に関する研究は各病院・研究機関などが独立して情報が共有されていない状況があり、それを変えるため、情報を集約、よりよい治療法を開発することを目的に2014年にほぼすべての小児がん研究・治療に携わる機関が参加する、NPO法人JCCGが設立されました。ただ組織を運営していくためにも皆の支援が必要であるようです。小児がんは子どもの死亡原因の上位にくる病気なのですが、JCCGの設立も2014年とわりと最近のことで、まだまだ理解や支援の必要性があります。

・がんの子どもを守る会のお二人のお話し

当時の闘病生活、小児がんの子どもや家族のことをお話されました。

治療時は子どもが辛いのももちろんだけど、自分も逃げてしまいたくなるくらい辛かった・・・

病院との二重生活、経済的な負担、克服しても再発の恐怖・・・

問題はいろいろあるけれども一番は大事なことは小児がんを知ってもらうこと。

・チャリティグッズ販売

小児がんの理解と支援を呼びかけるシンボルマークがゴールドリボンになります。

今回はゴールドリボングッズのバッジとストラップをチャリティグッズ販売がありました。

※チャリティグッズ応募用紙をいただいています。



ストラップとバッジ

・ヘアドネーション

髪の毛の長さが31cmからの受付でしたが16cmからでも受付可。

カツラを作れるのは31cmからですが、16cmはアデランスが買い取るので支援資金になります。

糖尿病

・糖尿病食

レシピがあまり集まっていないようです。

玉名LCの方に地元食もからめたレシピ?をコーディネーターが依頼されていました。

子どもの貧困

・キッズアカデミー開催

熊本地震により被災した3歳～5歳の未就学児、30名限定で英語と珠算の無料の塾を月2回。

※概要パンフレットをいただいています。